

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公表番号】特表2003-516940(P2003-516940A)

【公表日】平成15年5月20日(2003.5.20)

【出願番号】特願2001-537971(P2001-537971)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/569	(2006.01)
C 1 2 N	15/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	Y
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 1 2 P	21/08	
G 0 1 N	33/53	N
G 0 1 N	33/569	G
C 1 2 N	15/00	C
C 1 2 N	5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月17日(2007.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リンパ球に存在する細胞外受容体に対して特異性を有するIgM抗体および医薬上許容される担体を含む、ウイルス介在疾患の進行を抑制するための医薬組成物。

【請求項2】

白血球に存在するケモカイン受容体に対して特異性を有するIgM抗リンパ球抗体および医薬上許容される担体を含む、自己免疫疾患または炎症を抑制するための医薬組成物。

【請求項 3】

受容体がケモカイン受容体またはケモカイン受容体である、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 4】

同一のリンパ球表面受容体がまた、別の細胞表面に存在する、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 5】

リンパ球に存在する細胞外受容体に特異性を有する I g M 抗体がヒト I g M 抗体および動物 I g M からなる群から選択される請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 6】

疾患が、H I V - 1 およびリンパ球および他の細胞表面に存在するリンパ球受容体を介してウイルスが細胞に侵入する他のウイルス性疾患からなる群から選択される請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】

炎症疾患が、限定されるものではないが、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、サルコイドーシス、アテローム性血管疾患、脈管炎、同種移植の拒絶反応、糸球体腎炎、炎症性腸疾患または特発性肺炎から選択される、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 8】

I g M 抗体を個体に静脈内または筋肉内投与する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 9】

I g M 抗体特異性遺伝子を抗体産生細胞に導入し、in vitro で I g M 抗リンパ球抗体を産生させることを特徴とするヒトウイルス介在疾患治療用の I g M 抗体産生方法。

【請求項 10】

抗体産生細胞を感染ヒトまたは他の免疫欠損動物に導入し、抗体産生細胞に I g M 抗リンパ球抗体を産生させることを特徴とする、請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

I g M 抗リンパ球抗体に対して特異的なヒトまたは動物抗体産生細胞を単離し、該抗体産生細胞による in vitro で I g M 抗リンパ球抗体の産生を促進させることを特徴とする I g M 抗リンパ球抗体の産生方法。

【請求項 12】

抗体産生細胞による I g M 抗リンパ球抗体の産生をハイブリドーマ技術または細胞培養技術を用いて促進させる請求項 9 または 11 記載の方法。

【請求項 13】

抗体産生細胞による I g M 抗リンパ球抗体の産生をウイルス、細菌または抗原を用いて促進させる請求項 9 または 11 記載の方法。

【請求項 14】

ヒト I g M を生成することのできる動物からヒト抗体産生細胞を単離し、請求項 12 または 13 に示される抗体産生細胞による in vitro で I g M 抗リンパ球抗体の産生を促進させることを特徴とする I g M 抗リンパ球抗体の産生方法。

【請求項 15】

I g M 抗リンパ球を産生させることによる、ウイルス感染症またはケモカイン介在疾患を処置するための注射用組成物であって、1 種または複数の活性または不活性なウイルス、不活性細菌、抗原またはマイトジェンと、医薬上許容される担体とを含む、医薬組成物。

【請求項 16】

リンパ球に存在する細胞外受容体を該受容体に特異性を有する I g M 抗体検出用の抗原として使用することを特徴とする該 I g M 抗体の検出および定量用の診断アッセイ法。

【請求項 17】

I g M 抗体の代わりに他のイソタイプの抗体を用いることができ、かかる抗体がリンパ球上にある細胞外受容体に対して I g M 抗体と同じ結合特性を有するところの、請求項 1

または 2 記載の組成物。